

第6学年3組 学級活動（1）指導案

令和3年11月22日（月）3校時

指導者 ○○ ○○

1 議題 「6－3歴史の会をしよう」

2 議題について

（1）議題選定までの経過

今までに「係を決めよう」「1学期を振り返ろう」「秋コンテストをしよう」が児童から議題として出され、話し合い活動を実践した。本学級では、お互いのよいところを認め合い支え合っていこうという思いのもと、学級会が行われている。

今回は、「オリジナルキャラクターでお話大会をしよう」「おすすめの本発表会をしよう」「理科実験大会をしよう」などの提案があった。運動会や修学旅行を経験し、さらにクラスの絆を深めることができないかと考えていく中で、「初めての議題で友達のよさを再発見できるのではないか」、「協力することで仲がより深まるのではないか」という考えから、この議題が計画委員会で選定され、学級全体で決定した。

（2）学級の実態と指導観（男子13名 女子14名 計27名）

本学級の児童は、これまでの学級会において、「三段階討議法」で話し合いを進めていく経験を重ねてきた。これまでの経験から話し合いの型に沿って、児童主体で進めることができている。しかし、この議題ではこうするという固定概念が生まれ、発想の幅が狭まってしまっていることが課題である。今回は全員が初めて話し合う議題ということで、一人一人が提案理由やめあてをしっかりと意識し活発な意見の交流ができるように支援していきたい。みんなが共通の実践イメージをもった状態で話し合いに臨めるように、事前の情報共有をしっかりと行っていきたい。

また、本学級は、男女の分け隔てなく互いに助け合いながら生活することができている児童が多いが、承認感の低い児童も数名見られる。授業中の発言は一部の児童に限定されており、意見の交流が十分にできていない。発言が少ない児童でも自分の考えをしっかりとつていくことができているので、学級会ノートを教師が事前に目を通し、認めることで発言につなげたい。さらに、話し合いや実践での友達との関わりを通して承認感や自己有用感を高めていきたい。

3 評価の観点・規準

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に取り組む態度
自発的・自治的な集団活動の意義を理解し、活動を行う上で必要となる話し合い活動や合意形成の方法を身につけている。	多様な人の立場に立って、学級や学校生活の課題を見出し、解消するために話し合い、合意形成することができる。	学級や学校の多様な集団や活動に参画し、問題を主体的に解決することを通して、よりよい生活を創造することができる。

4 活動の経過

	月 日 (曜日)	活動の場	活動の主体	活動の内容
事前	1 1 月 8 日 (月)	朝の活動の時間	全体	議題の収集・選定・決定
	1 1 月 9 日 (火)	朝の活動の時間	計画委員	提案理由・役割の決定
	1 1 月 1 0 日 (水)	朝の活動の時間	全体	学級会ノートへの記入・集計
	1 1 月 1 1 日 (木) ～ 1 9 日 (金)	朝の活動 休み時間など	計画委員	学級会ノートの集計 話合いの計画
本時	1 1 月 2 2 日 (月)	学級活動	全体	話合い活動
事後	1 1 月 2 4 日 (水) ～ 1 2 月 2 日 (木)	朝の活動の時間 休み時間など	各係	役割ごとの準備
	1 2 月 3 日 (金)	学級活動	全体	実践・振り返り


5 本時のねらい

- ・ 提案理由に基づき、自分の考えや意見をもって意欲的に話合い活動に参加している。
(主体的に集団活動や生活に取り組む態度)
- ・ みんなで協力して取り組み、互いのよさを再発見するための具体的な工夫を考えている。
(思考・判断・表現力等)

6 本時の活動 (別紙)

7 指導上の留意点

- ・ 自分事として話合いに参加するための姿勢として、意見に対して反応したり感想をもったりすることを児童に意識させる。
- ・ 事前準備の段階で具体的なイメージを学級全体で共有できるように、説明資料などを作成させて掲示しておく。
- ・ 本時では、「話し合うこと 1」の比べ合うから始める。
- ・ 進行が滞っていたり、司会や黒板記録が困っていたら、適宜、他児童の助けが得られるようにつなげたり、教師が助言したりして進めるようにする。

第 6 回 学級会 活動計画 11月 22日 (月) 3 時間目		
議題	6-3 歴史の会をしよう	
役割	司会(今野希実香) 副司会(大貫 和和) 黒板記録(松宮蒼空、伊藤心) ノート記録(石川 遥希)  ていあん者(坂本玲、大貫 心聖、上原 智)	
ていあん理由	小学校までの生活は残り 5ヶ月。6-3の思い出を形に残したいと思ったから。	
めあて	想像しながら 話し合いに参加しよう。	
決まっていること	クレーンでやる。やることは、2つ。やる日 12月3日(金)	
話し合いの順序(時間)	気をつけること	準備
1 始めの言葉	みんなに伝える 声で言う。	
2 計画委員のしようかい	自分の目録票をみんなにしっかり伝える。	
3 議題のかくにん	しばらくでさしなから石巻を語る。	さしぼう
4 ていあん理由やめあてのかくにん	わりわりおきで話す。	さしぼう
5 決まっていることのかくにん	↓	さしぼう
6 話し合い	話をまとめながら進める。	矢豆冊 さしぼう マグネット はなまる サンキュー チョーク
① 何をするか (15分間)		
② モリあける工夫 (15分間)	よい意見は話し合いの前にもメモしておく。(意見が出なかつたら指名する)。 なるべく多くの人から意見を聞く。	
③ 役割分担 (5分間)	密を付けておこととに分ける。	
7 決まったことの発表	ふしじいで目録票をみんなの机にあげる。	
8 ふり返り	時間を決める。	
9 先生のお話		
10 終わりの言葉	みんなに伝える 声で言う。	

6-3 歴史の会

- 司会く > >
 1. はじめの言葉く >
 2. ルール説明く > >
 3. く >
 4. く >
 5. ふり返り
 6. 先生のお話
 7. 終わりの言葉く >

第 6 回 学級会 活動計画 11月 22日 (月) 3 時間目		
議題	6-3 歴史の会をしよう	
役割	司会() 副司会() 黒板記録() ノート記録() ていあん者()	
ていあん理由	小学校での生活は残り 5ヶ月。6-3の思い出を形に残したいと思ったから。	
めあて	想像しながら 話し合いに参加しよう。	
決まっていること	ルールを決める。やることは、2つ。やる日 12月3日(金)	
話し合いの順序(時間)	気をつけること	準備
1 始めの言葉	みんなに伝える 声で言う。	
2 計画委員のしようかい	自分の目標票をみんなにし、わり伝える。	
3 議題のかくにん	しばらくでさしなから石巻を思ふ。	さしぼう
4 ていあん理由やめあてのかくにん	わりわりはわり話す。	さしぼう
5 決まっていることのかくにん	↓	さしぼう
6 話し合い	話をまとめながら進める。	
① 何をするか (15分間)		矢豆冊 さしぼう マクネット はなまる サンキュー
② もりあける工夫 (15分間)	よい意見は話し合いの前にもメモしておく。(意見が出なから指名する。) なるべく多くの人が意見を出す。	チョーク
③ 役割分担 (5分間)	密を付けておことに分ける。	
7 決まったことの発表	よしよしで目標票をみんなの方におくる。	
8 ふり回り	時間を決める。	
9 先生のお話		
10 終わりの言葉	みんなに伝える 声で言う。	

6-3 歴史の会

- 司会く > >
 1. はじめの言葉く >
 2. ルール説明く > >
 3. く >
 4. く >
 5. ふり回り
 6. 先生のお話
 7. 終わりの言葉く >

